

2017年度 ジュニアバスケットボール教室 生徒募集のご案内

1. 趣旨

現在、私は北海道ジュニアバスケットボール連盟という組織の普及育成委員会に所属し、ジュニアの普及育成に関わる仕事に携わらせていただいています。その委員会の仲間とともに年間を通して、ジュニアの普及育成を行っていますが、もっと身近なジュニアの選手のためになり、バスケットのすそ野をちょっとでも広げるお手伝いはできないか、と考えてこのような教室を実施しています。また、過去に男子U-15の北海道ブロックエンデバーコーチを5年間務め、その間、毎年東京味の素ナショナルセンターで実施されるトップエンデバーに参加し、伝達講習会を受ける機会を提供して下さった方々への恩返しの気持ちも込めて実施してきました。時間の流れは早いもので、この企画も今年で6年目を迎えました。少しでもバスケットボールの好きな生徒の役に立つことができれば幸いです。

2. 対象生徒

中学校1年生から3年生までの男女で、基礎的なスキルを学びたいと考えている生徒。申し込み人数が多数になっても、全員受け付けます。ミニバス経験の有無やスキルの習熟度は問いません。

申し込みは別紙申し込み用紙を使用して、6月22日(木)19時までに申し込むこと。申し込み後はこちらから案内はしませんので、下記の日時の初回の練習に直接お越しください。
※申し込み用紙はホームページからダウンロードしてください。

3. 応募条件

- (1) 中学校のバスケットボール部に所属していること
- (2) 自分が所属している学校の部のスポンサーの先生から許可を得られた生徒
- (3) 保護者の送迎ができること
- (4) 交通費の支給はしないことと、怪我に対する責任は一切負わないことを了解できること
- (5) バスケットボールが大好きな生徒
- (6) 明るくあいさつができ、ルールやマナーを守って参加できる生徒。澄川中学校の体育館を借りて実施していますので、澄川中学校の先生方にも気持ちの良いあいさつをすること。
- (7) 内容は基本的なドリルが中心になりますので、基礎を学びたいという生徒のみ、応募して下さい。5対5のゲームを期待している人は、期待外れになると思われますので、応募は見合わせた方が良いでしょう。
- (8) 練習内容は積み上げ方式になりますので、継続して参加出来る生徒が応募した方が良いでしょう。
- (9) ボールは個人で用意すること
- (10) 準備・片づけを率先してできる生徒

4. 実施期間と日時

毎月2回の頻度で、2018年5月末まで実施。基本的に木曜日の午後7時~午後9時に行います。長期休業中は時間が早まることもあります。

※参加生徒はその都度募るのではなく、初めに申し込んだ生徒で2018年5月末まで実施します。

5. 会場と指導者

会場 札幌市立澄川中学校体育館

指導者 札幌市立澄川中学校 鈴谷 勉（日本バスケットボール協会公認 C級コーチ）

後援 札幌ジュニアバスケットボール連盟

6. その他

(1) 1 回目の練習は 6 月 29 日（木）午後 7 時～午後 9 時 に実施します。

練習できる用意をして直接体育館に来てください。ただし、午後 7 時までは本校の部活動が使用していますので、指示があるまで体育館には入らないでください（体育館前の廊下で待機してください）。保護者の方は路上駐車などされませんよう、ご注意願います。

(2) 参加費は無料です。

7. 昨年度の様子

昨年度、最終回まで継続して参加した生徒数は例年に比べるとかなり少なく、10 名を下回る人数で行って来ました。しかし、参加した生徒は、みな意欲的で、素直に学ぼうとする生徒ばかりで、指導者としても、充実感を味わうことができました。人数が少ない分、毎回正しいシュートフォームの習得に時間をかけることができ、シュートの確率向上にはかなり効果がありました。

1 年間継続して参加することはとても大変なことですが、継続して参加した生徒には基礎的なスキルの向上が認められたように思います。

基礎的なスキルを本気で学びたいと思っている生徒のための企画ですので、練習内容については日本バスケットボール協会の指針に基づき、極力必要最小限に絞り、参加者の多くがある程度出来るまで時間をかけることと、同じドリルを反復して行うやり方に徹しました（今年度もこの方針で実施します）。5 対 5 などのゲームライクなドリルはほとんど行いません。また、実際に 1 度参加しただけで来なくなる生徒もいますが、続ける自由もやめる自由も生徒本人に認めていますので、継続できなくても構いません。

8. 参加した生徒の感想

○北区 中3男子

<参加して身についたこと>

ドリブル、パス、そしてシュート。全ての基礎技術が身に付いたと思います。

<参加した感想>

僕は中学 1 年生の時からこの教室に参加しました。回数を重ねて行けば行くほど、自分の頑張りにプラスされていき、どんどん技術が伸びていきました。今、「自分が得意としているものは？」と聞かれたら、絶対に「シュート！」と答えると思います。そして、「どうやってうまくなったの？」と聞かれたら絶対に「この教室に参加したから」と答えます。少しでもうまくなりたいと思う人たちは、迷わず参加することをお勧めします。